

スタッフのある日

- 8:30 出勤・朝礼
施設貸出し準備
- 8:50 利用者受付
- 9:00 午前区分 貸出し開始
電話対応・事務仕事
- 12:00 昼食
清掃・午後区分準備
- 13:00 午後区分 貸出し開始
- 15:00 番番のスタッフへ
引継ぎ
- 17:15 退勤



「施設を利用するお客様、そして街の皆様のために！」

財団のお仕事をご紹介します！

学園都市センター
窓口スタッフ

学園都市センターの窓口スタッフは、主に施設の貸し出しに関する業務を担っています。立地も良く、お値段も手頃で、幅広い世代の方に利用されています。駅近くで複合施設の中にあることにより、施設以外に関する様々なお問い合わせも集まるため、周辺の街の情報にも目を光らせて、皆様のご要望に応えられるよう、日々心がけています。

特に力を入れていることは？

皆様に気持ちよく施設を使っていただけるよう、貸出備品の管理やお部屋の清掃に力を入れています。これからは様々な方にご利用いただけるよう、施設をピカピカにしてお待ちしています！

インタビューしました！

学生さんへ！

● イベントホール
学割で使用料75%OFF
(1年前から先行予約可)
ぜひご利用ください♪



4/26(金) J:COMホール八王子 『LISA ONO 35th Anniversary 小野リサコンサート 2024』

・学生の頃よく聴いていた小野さんが近くにいらっしやると知り、気軽に申し込んだのですが、1曲目から小野さんの柔らかな歌声が心に染み、目頭が熱くなりました。笑いも涙もあるいいコンサートでした！

財団主催公演の来場者アンケートから、感想を少しご紹介♪



深貝理紗子(ふかがいりさこ) ピアニスト。エコール・ノルマル音楽院を経てスコラ・カントルム音楽院首席修了。東京文化会館主催公演など出演多数。柴田南雄音楽評論賞受賞。近現代音楽、フランス芸術サロン文化を中心に活動を展開中。

連載 フランス音楽を纏う

Vol.2 ドビュッシーと文学

深貝理紗子

象徴の森、という言葉がありま
す。人はみな木々に見守られ、と
きにその暗闇に混乱もし、香りや
色、音のこだまし合う、自然の対
話を生きたフランスの詩人ポー
ドレルの衝撃作『コレスポンド
ンス』は多くの芸術家に影響を与
えました。そのひとりにドビュッ
シーがいます。楽譜に書かれた音
符を鳴らしてゆくとき、思いがけ
ない感覚が引き起こされることも
よくあります。清流のせせらぎ、太
陽の近い空、とろけるような甘み
—忘れられないのが、濃厚に立ちこ
める匂いと煙に瞬のうちに包まれ
：いや、呑み込まれると驚いたと
きに記された『音と香りは夕暮れの
大気に漂う』という文字列から目
が離せなくなりました。

花々はおぼろに匂う／音と香りは
黄昏の空に廻る／大空は哀しく美
しい／君の思い出は我が心に輝く—
(『ボードレル(タベの調)』より抜
粋)
どうやらこの詩をもとにドビュッ
シーは、その物憂げなワルツを書い
たらしい。それから私は、五感がそ
れぞれに響き合う瞬間に興味を持
つようになりました。
古今和歌集なども花の香りから
昔のことを想ったり、鳥の鳴き声か
ら眠っていた感情が蘇ったり、短い
歌のなかに深い情緒があります。
ほんの瞬を描きとる幽玄の妙に共
通するものを感じます。文化に触
れたとき、日常に楚々と咲く幸せ
に気がつくことができる。それはま
た、心に蓄えた文化さえあれば、い
つでもどこでも自分だけの幸せな
夢を見つげられるということ。
哀しく美しい月の光はひそやかに
／木々の鳥たちに夢を見させる—
(『ヴェルレーヌ(月の光)』より抜粋)
夏の夜の散歩も良いかもしれな
い。皆さん、今日は『月の光』をお傍
にどうぞ。



パリ郊外にあるドビュッシー生家

ルーヴル美術館の銅版画展

La Chalcographie du Musée du LOUVRE Copperplate Prints from the Louvre

八王子市
夢美術館
EXHIBITION



《ルーヴル旧館正面の眺め》 ジャック・リゴー

美の殿堂として名高い「ルーヴル美術館」には、知られざるカルコグラフィーコレクションが存在します。ルイ14世治世下に設立された「王の版画原版収集室」を起源にもち、やがて名画を後世に伝える大きな役割を担うようになりました。本展では、13,000点に及ぶコレクションの中から、当時の版を使い刷られた100点余りをご紹介します。

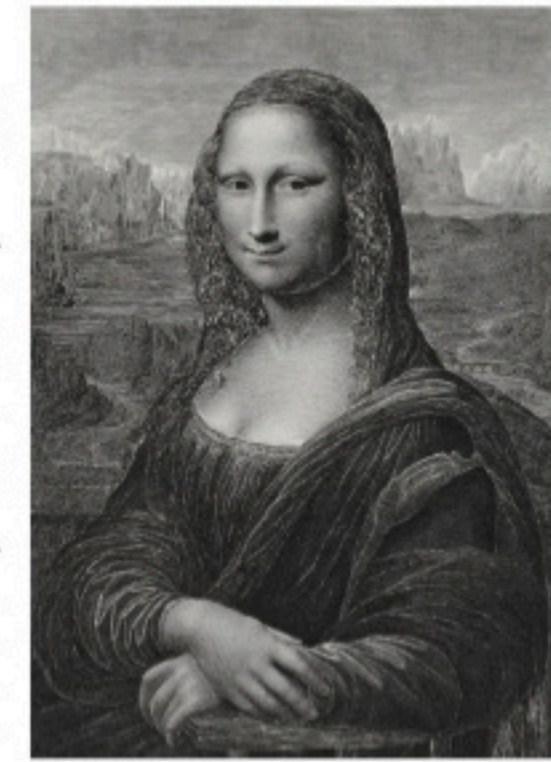
～9月1日(日)

10:00～19:00(ただし、入館は18:30まで)
※月曜休館(月曜が祝日・休日の場合は、翌平日が休館)
【料金】一般 800円 学生・65歳以上400円
※中学生以下無料 ※ラ♪ラ♪友友の会会員は2割引



写真技術誕生以前、貴重な名画を後世に伝えるため、版画による複製は奨励されていました。太陽王ルイ14世とそれに続く歴代の王たちは、フランス王家の権威を国内外に知らしめるため、壮麗なイベントや王宮、芸術作品などを銅版画によって記録することを命じたのです。革命後の1797年に王家のコレクションを引き継ぐ形で、カルコグラフィー室が設立され、ルーヴル美術館の貴重な作品を版画化すること、また同時に版画技術の保存という使命を改めて担うようになりました。

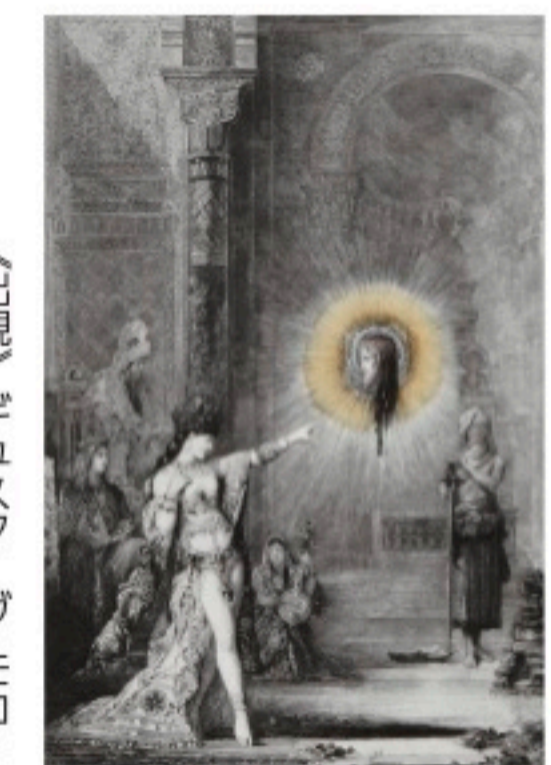
本展では当時の原版を使って刷られたあの名画の銅版画もやってきます！ルネサンス時代を代表するダ・ヴィンチ、ラファエロ、「黄金の世紀」と称される17世紀バロック時代からはフェルメール、レンブラント、華麗な様式のロココ時代からはヴァトー、フラゴナール、19世紀フランス絵画からはアングル、モロー、20世紀絵画からはモディリアーニや藤田嗣治など、名だたる巨匠たちが残した名画の銅版画を出品予定です。
フランス、ヨーロッパの文化と歴史とともに、西洋美術史の流れもおさらいできる構成となっています。カルコグラフィーコレクションをとおり、ルーヴル美術館の息吹を感じてみませんか？



《モナリザ》レオナルド・ダ・ヴィンチ



《レースを編む女》ヨハネス・フェルメール



《出現》ギユスターヴ・モロー



《イタリアの女(完全版)》アメデオ・モディリアーニ

日本中の子どもたちを笑顔にした 次展覧会

絵本作家 かがくいひろしの世界展

9月14日(土)～
11月4日(月)休

日本中の子どもたちを笑顔にしている、「かがくいひろしの絵本」の魅力に迫ります。
【料金】一般 900円 学生・65歳以上450円
※中学生以下無料 ※ラ♪ラ♪友友の会会員は2割引



日本中の子どもたちを笑顔にした 絵本作家 かがくいひろしの世界展

©Hiroshi Kagaku